慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

| | |
|---|---|
| Title | 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫昭和五十六年度彙報 |
| Sub Title | |
| Author | |
| Publisher | 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 |
| Publication year | 1982 |
| Jtitle | 斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.19 (1982. ) ,p.453- 458 |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | 阿部隆一名誉教授追悼記念論集 |
| Genre | Article |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000019-0453 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 斯道文庫昭和五十六年度彙報

## 人　事

○ 文庫員

五十七年三月末日を以て教授兼文庫長阿部隆一君が定年退職した（在職三十年十ケ月）。

○ 事務職員

五十六年十二月三十一日を以て、事務嘱託畠中順子君退職（在職二年八ケ月）。

○ 研究嘱託

五十六年四月一日付並びに同六月一日付を以て次の両君を研究嘱託に委嘱した。

牧野和夫（東横学園女子短期大学専任講師）

金文京（本塾文学部助手）

**文庫委員会**

五十六年五月二十九日正午、於文庫長室。五十五年度研究事業報告、五十六年度研究事業計画につき審議。本塾文学部助手金文京君の研究嘱託委嘱につき審議、五十六年六月一日付を以て新任を承認。

五十六年十一月六日正午、於文庫長室。本文庫研究嘱託山城喜憲君の助手採用につき審議、五十七年四月一日付を以て新任を承認。教授阿部隆一君は五十七年三月を以て定年退職につき、同君担当「斯道文庫講座Ⅰ」の五十七年度継続につき審議し承認。又、同君の名誉教授推薦につき審議し推薦を承認した。

五十七年一月二十九日、於文庫長室。文庫長阿部隆一君の定年退職に伴う、後任文庫長の推薦を諮り、後任文庫長に本文庫教授松本隆信君を推薦、承認。文庫委員文学部教授清水潤三君の定年退職につき、後任委員として同学部教授村山光一君に委嘱、審議承認。本塾文学研究科史学専攻（博士課程在籍）小見山春生君の研究嘱託委嘱につき審議、五十七年四月一日付を以て新任を承認。五十七年度文庫員授業兼担につき審議、承認。教授阿部隆一君、五十七年二月二十六日より同年三月二十日迄、北京・南京・上海の図書館蔵宋元版調査の出張につき審議し承認。

五十七年三月三十日、於研究室A会議室。文庫委員経済学部教授島崎隆夫君の定年退職に伴い、後任委員に同学部教授田中明君に委嘱、審議承認。昭和五十七年度トヨタフォーラム助成として漢籍総目録編纂事業を計画し、同年度は同編纂準備会を発足し、本文庫研究事業の一端として参加することを諮り承認。文庫創立二十周年記念事業計画として、「日本現存漢籍古鈔本」の編纂影印出版計画を諮り、承認。

## 研究調査

前年度に続き、左の研究課題を中心として、調査研究と副本作製を進めた。

一、国書の部

(1)平安時代和歌・物語の研究

(2)中世物語の研究

(3)橘守部稿本の研究

(4)聖徳太子伝記類の研究

二、漢籍の部

(1)旧鈔本・宋元版の研究

(2)日本漢学の研究

特に本年度に於ける各文庫員・研究嘱託の研究調査題目は次の通りである。

阿部隆一

一、宋元版の研究

一、四書孝経類の総合目録編纂（大沼共同）

一、日本漢学資料類―主に山鹿素行関係・崎門学派・本朝文粋の目録作製と調査研究

一、未刊漢籍旧鈔本の集成、解題並に影印編纂

太田次男

一、白氏文集の調査研究

一、和漢朗詠集並注釈書の調査研究

一、秘蔵宝鑰勘注の古鈔本・三教指帰敦光注の研究

松本隆信

一、中世物語類の調査研究

(イ)室町時代物語類諸本解題目録作製

(ロ)「室町時代物語大成」の編纂

一、聖徳太子伝記類の研究（牧野共同）

平沢五郎

一、橘守部著作類の研究

一、平安朝の和歌並に物語の研究

(イ)勅撰和歌集諸本の研究（寺沢・川上共同）

(ロ)散木奇歌集諸本並にその古註釈書の調査研究

一、室町以前成立の古典註釈書の研究

尾崎　康

一、漢籍総合目録史部正史類の調査（山城共同）

一、正史宋元版の研究

一、通典の研究

大沼晴暉

一、日本近世学術文芸史の研究―四書孝経類

白石　克

一、寺社略縁起類の調査

一、慶應義塾図書館所蔵「地図類」の整理

一、正徳以前刊日本地誌類総合目録の作製

山城喜憲

一、漢籍総合目録史部正史類の調査（共同）

林　望

一、浮世草子類の書誌調査

一、遊仙窟諸本の研究

寺沢行忠

一、山家集諸本の研究

一、勅撰和歌集諸本の研究（共同）

川上新一郎

一、勅撰和歌集諸本の研究（共同）

一、中古中世の歌学書・歌集の調査

牧野和夫

一、聖徳太子伝記類の研究（共同）

一、平家物語の研究

昭和五十三年に始った、トヨタ財団に申請せる、阿部隆一君を代表とし、本文庫員並に他大学の研究者の協力をえた綜合研究「国書・漢籍総目録の編纂―その

緒業としての部門別目録」に対し、十月十日付を以て、八〇〇万円の同財団昭和五十五年度研究助成金（第三回）が交付され、同五十七年三月を以て終了した。この調査部門の項目と分担者は次の如くである。

一、国書の部

(1)日本漢学〈A崎門学派著作　B山鹿素行著作—阿部隆一・大沼晴暉〉(2)国学〈橘守部著作—平沢五郎〉(3)和歌〈A八代集—平沢五郎　B山家集—寺沢行忠〉(4)物語〈A伊勢物語（刊本）—寺沢行忠　B室町物語—松本隆信　C軍記物語（保元・平治物語・平家物語・太平記・曾我物語・義経記）—長谷川端・山下宏明・村上学〉(5)近世国文学〈浮世草子—長谷川強・林望〉(6)地誌〈正徳以前刊本—白石克〉(7)六国史〈鎌田元一〉

二、漢籍の部

(1)宋元版〈阿部隆一〉(2)四書孝経類〈日本人著作を含む—阿部隆一・戸川芳郎・大沼晴暉・藤本幸夫〉(3)正史〈日本人著作を含む—尾崎康〉(4)書誌書目〈阿部隆一〉(5)唐人別集類〈日本人著作を含む—和泉新・佐藤保〉(6)俗小説・戯曲類〈田仲一成・伝田章〉

○文庫員・研究嘱託の主要な研究成果

阿部隆一

日本国見在宋元版本志経部（「斯道文庫論集」第十八輯・昭和五十七年三月）

太田次男

長恨歌伝・長恨歌の本文について—旧鈔本を中心として—（「斯道文庫論集」第十八輯）

松本隆信

神田本白氏文集の研究（小林芳規氏と共著、勉誠社・昭和五十七年三月）

在外奈良絵本善本略解題（「在外奈良絵本」角川書店・昭和五十六年五月）

室町時代物語大成第十（角川書店・昭和五十七年二月）

中世における本地物の研究(六)—祇園牛頭天王縁起について—（「斯道文庫論集」第十八輯）

尾崎　康

「北宋版通典」影印・解題、第七・八巻・別巻（汲古書院・昭和五十六年五月～九月）

明南北国子監二十一史について（「斯道文庫論集」第十八輯）

大沼晴暉

清朝以前成立孝経類目録（「斯道文庫論集」第十八輯）

白石　克

江戸期都市地図展解題目録（慶應義塾大学情報センター・昭和五十六年六月）

林　望

遊仙窟本文校勘記（「東横学園女子短期大学創立二十五周年記念論文集」・昭和五十六年六月）

「遊仙窟鈔」影印・解題（勉誠社・昭和五十六年十月）

「わらひ草のさうし」の研究(1)（「ビブリア」七十七号・昭和五十六年十月）

「けいせい鸚照君」翻刻と解題（「東横国文学」第十四号・昭和五十七年三月）

「けいせい山桝太夫」翻刻と解題（同）

寺沢行忠

山家集伝本考（「斯道文庫論集」第十八輯）　川上新一郎

『古今和歌集』版本諸版一覧（「斯道文庫論集」第十八輯）　牧野和夫

中世の太子伝を通して見た一、二の問題―(1)―世阿弥・禅竹の伝書の場合―（「東横国文学」第十三号・昭和五十六年三月）　同―(2)―所引朗詠注を介して、些か盛衰記に及ぶ―（同第十四号・昭和五十七年三月）　金　文京

小説李娃伝の劇化（「中国文学報」第三十二冊・昭和五十五年十月）　劉知遠の物語（「東方学」第六十二輯・昭和五十六年九月）　『折桂記』解説（京都大学漢籍善本叢書第十七巻・同朋社・昭和五十六年十月）

**調査出張**

五十六年四月九日―十一日　上田市立図書館　出張者　松本隆信（石川俊一郎帯同）

同四月十二・十三日　京都大学教養部文学研究室　出張者　林望

同四月三十日―五月二日　京都大学人文科学研究所　出張者　阿部隆一

同五月六日―八日　椙山女学園大学　出張者　大沼晴暉

同六月五日―三十日　中華民国台湾省台北市故宮博物院　出張者　阿部隆一

同七月二日―七日　名古屋市蓬左文庫　出張者　平沢五郎・川上新一郎（石川俊一郎・佐藤道生帯同）

同七月二十三日―二十五日　足利学校遺蹟図書館　出張者　阿部隆一

同八月三・四日　大津市石山寺　出張者　阿部隆一

同九月一日―四日　瀬戸市万徳寺・奈良市東大寺図書館・大和高田市堀江彦三郎氏高田郷土文庫　出張者　松本隆信・牧野和夫

同九月十三日―十九日　蒲郡市穂久邇文庫　出張者　平沢五郎・井上善一・山城喜憲・川上新一郎

同十月二十三・二十四日　静岡県菊川町常葉学園・静岡県立中央図書館　出張者　阿部隆一・大沼晴暉

同十一月十日―十三日　東北大学附属図書館　出張者　白石克

同十一月二十四・二十五日　名古屋市尾崎知光氏・名古屋市蓬左文庫　出張者　太田次男

同十二月二日―四日　東北大学附属図書館　出張者　白石克

同十一月二十六日―十二月十日　加賀市市立図書館・金沢市市立図書館・金沢大学附属図書館・名古屋市蓬左文庫　出張者　大沼晴暉・山城喜憲

同十二月二十一日―二十四日　筑波大学附属中央図書館　出張者　林望

昭和五十七年二月八日　京都大学附属図書館　出張者　阿部隆一

同二月二十一日―二十八日　九州大学文学部国文学研究室・九州大学附属図書館・佐賀県立図書館・佐賀大学附属図書館・多久市郷土資料館・祐徳稲荷神社　出張者　川上新一郎

同三月十日―十三日　筑波大学附属中央図書館　出張者　林望（染谷智幸帯同）

同三月十二日―十五日　大阪府野中寺・叡福寺・滋賀県瓦屋禅寺　出張者　牧野和夫

同二月二十六日―三月二十一日　中華人民共和国北京市北京図書館・首都図書館・北京大学図書館・南京市南京大学図書館・南京図書館・上海市上海図書館　出張者　阿部隆一

同三月十四日―二十六日　岩国市吉川家・岩国徴古館・鳥取県立図書館　出張者　平沢五郎・井上善一・山城喜憲

同三月二十九日―三十一日　京都市東寺観智院　出張者　太田次男

### 斯道文庫講座

五十六年度講座題目

和漢書目録著録の実修　阿部隆一

漢籍古鈔本の校異について　太田次男

聖徳太子伝諸本の研究　松本隆信

八代集諸本の検討と整理　平沢五郎

通典校注(巻十三～十八選挙典)　尾崎　康

### 図　書

五十六年度図書増加数　七四三冊

内寄贈書　一七六冊

賛助員会寄付金による購入書　計四十三冊

物初賸語　宋版　五冊

晦菴先生語録類要　十八巻　古活字版　四冊

周易伝義　二十四巻　古活字版　四冊

広韻　五巻　明版　五冊

六子全書　明版　二十冊

広韻　五巻　宋版　五冊

五十六年度三月末現在累計蔵書数　九五、七九九冊

他に寄託図書　約三三、〇〇〇冊

五十六年度逐次刊行物増加　七種

本年度の主な寄贈者(定期刊行物を除く)の芳名を左に録して、厚く感謝の意を表する。

池田英雄殿　坂口筑母殿　佐久間洋行殿　反町茂雄殿　林望殿　平野日出雄殿　松原秀明殿　水尾現誠殿　横山英殿　朝鮮国立中央図書館殿　中華民国国立中央図書館殿　大韓民国議会図書館殿　神宮文庫殿　金沢文庫殿　国文学研究資料館殿　国立公文書館内閣文庫殿　京都大学人文科学研究所殿　汲古書院殿　名古屋大学附属図書館殿　名古屋市蓬左文庫殿　奈良国立博物館殿　成田図書館殿　大倉集古館殿　大阪府立夕陽丘図書館殿　三康図書館殿　天理図書館殿　東京大学東洋文化研究所殿　トヨタ財団殿　山本書店殿

### 文献複写

本年度も公私の図書館・文庫所蔵本について、マイクロフィルム等による副本の作製を行った。

五十六年度三月末現在累計

百呎ネガフィルム　八〇四リール

同　ポジフィルム　九九六リール

以上の複写は本文庫の研究事業計画に賛意を表され、貴重な御所蔵本の撮影を許可された所蔵者各位の御厚意によるもので、その主な芳名を録して、厚く感謝の意を表する。

滋賀県石山寺殿　岩国徴古館殿　上田市立図書館殿　大阪府叡福寺殿　京都市賀茂別雷神社殿　滋賀県瓦屋禅寺殿　岩国市吉川家殿　九州大学中央図書館殿　京都大学文学部研究室殿　宮内庁書陵部殿　国文学研究資料館殿　国立国会図書館殿　佐賀県立図書館殿　佐

賀大学附属図書館殿　静嘉堂文庫殿
高岡市立中央図書館殿　多久市郷土資料館殿　鶴見大学附属図書館殿　天理図書館殿　東京大学総合図書館殿　同国語国文学研究室殿　東京都立中央図書館殿　京都市東寺殿　東大寺図書館殿　東北大学付属図書館殿　東洋文庫殿　鳥取県立図書館殿　内閣文庫殿　名古屋市蓬左文庫殿　瀬戸市万徳寺殿　福井県立図書館殿　穂久邇文庫殿　大和高田市堀江彦三郎氏高田郷土文庫殿　松平公益会殿　宮城県立図書館殿　無窮会図書館殿　大阪府野中寺殿　祐徳稲荷神社殿　龍谷大学図書館殿　早稲田大学図書館殿　同国語国文学研究室殿　中華民国故宮博物院殿

**文庫仮移転**

本文庫拡張計画に伴い、移転先旧図書館第三書庫三階・第二書庫四階及び屋根裏の改修工事施行のため、五十七年三月五日より三田研究室一階に、暫定的に研究室・事務室を仮移転した。猶本移転予定は同年十一月上旬である。従って其間の図書・資料等の利用を停止する。

昭和五十八年三月三十一日発行

編輯兼発行者
東京都港区三田二―一五―四五
慶應義塾大学
附属研究所　斯道文庫
電話（四五三）四五一一番

頒価　五、〇〇〇円